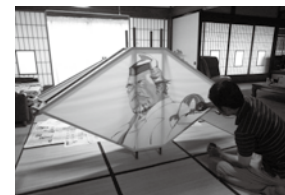


取組内容

荒町自治会では、地域の活性化に向けた話し合いを通じて、鹿角三郷士の一人として語り継がれてきた「野尻左京」にまつわる調査や環境整備などに取り組みました。自治会員が市内外に足を運び調査した結果を基に、荒町自治会の成り立ちに大きな影響を与え、地域の礎を築いた野尻左京が実在したことを確認し、その功績を周知するため、案内看板を設置するとともに左京に由来のある湧き水の周辺を整備しました。また、夏祭りでは、新たに制作した左京をデザインした絵灯ろうを展示して自治会員の交流を深めました。

地域資源を再発見し活用した取り組みが、地域コミュニティの活力再生に繋がっています。



絵灯ろう制作の様子



湧き水の周辺整備の様子

集落支援員活動事業

集落支援員は、自治会の現状を把握するための「状況調査」を行い、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などについての「話し合い」と「活性化活動」への取り組みを支援します。小規模な自治会（50世帯未満）を中心に支援しています。活用を検討される自治会は、お気軽にお問い合わせください。



市民共動課 共動推進班
☎ 30-0202

荒町自治会の取り組み

今年度は、4つの自治会が集落支援員活動事業と市の補助制度を活用して活性化に向けた取り組みを行っています。今回は八幡平「荒町自治会」の活動内容をご紹介します。

Szia! from Sopron

(ショプロンからこんにちは！)

日本語指導員現地レポート
第10代日本語指導員 堀川さゆみさん

秋田市出身。大学時代に留学経験があり、帰国後もホームステイの受け入れや、多くの異文化交流プログラムに参加するなど、豊富な国際交流経験を活かし渡航。



皆さんこんにちは。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、イベントが中止になったり、学校が休校になったり、日用品が品薄になったりと、なかなか落ち着かない日々かもしれませんね。ハンガリーでも新型コロナウイルス感染症について連日報道されています。不安になり、砂糖や小麦粉などを大量に買う人もいます。ですが、多くの人はいつもと変わらず過ごしている印象です。

2月22日と23日には、ブダペストで開催された「中東欧日本語教育研修会」に参加しました。国際交流基金の主催で、中東欧地域で日本語教育に携わる方を対象とした研修です。今回のテーマは「日本語教育をつなげる」でした。伊東祐郎教授（国際教養大学）の講演や、ワークシヨップが充実して

いて大変勉強になりました。いつも1人でレッスンをしているのですが、たくさんの方の日本語教育の先輩方と、普段の授業のことや教え方など、さまざまなことについて意見交換するのは本当に貴重な機会でした。



中東欧日本語教育研修会にて

そんな中、新型コロナウイルスも少し話題に上がりました。アジア人ということで、新型コロナウイルスを警戒する現地の人に嫌な顔をされたり避けられたりするのではないかと心配する先生もいました。実際、ブダペストに駐在する日本人が「帰れ」と言われた話や、咳をしただけで周りの人がいなくなった話を聞きました。ショプロンでは特に問題なく生活していますが、以前、日本語を教えている高校の職員に「コロナウイルスじゃないよね。」と何回も聞かれました。

早く新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着き、日本もハンガリーも他の国々も元の日常に戻りますように。

ブログ公開中 <http://termeszetszereto.blogspot.com/> ぜひご覧ください。

ECO & LIFE

ECO

快適な暮らしの情報

春の全国交通安全運動

◆運動期間 4月6日～15日
4月の入国入学シーズンを迎え、不慣れた通学路を通い始めた子どもたちが被害者となる交通事故が心配されます。交通ルール・マナーを家庭で再確認し、事故に遭わない、起こさないように交通ルールを守り、思いやりをもったマナーを身につけましょう。
4月10日金曜日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

自転車の点検・整備を受けましょう

自転車事故により、数千万円以上の損害賠償に発展するケースもあります。安全利用を心がけるとともに、年1回は点検・整備を受け、TSMマーク（自転車向け保険）などの保険に加入しましょう。



自転車安全利用五則

春になり、自転車の利用が増える4月から5月の2か月間は、「自転車の安全利用推進運動」の強調期間です。
自転車の安全利用のため、次の自転車安全利用五則を守りましょう。

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

飲酒運転や二人乗り、並進は禁止されています。また、夜のライト点灯や、交差点での一時停止と安全確認などの安全ルールを守りましょう。

☎ 市民共動課 環境生活班
30・0224

会社概要

わが社はパソコンや自動車などさまざまな製品に搭載されている半導体の動作確認を行う、世界でも数少ない検査装置メーカーです。主に自動車やエアコンなどに使う「パワー半導体」の検査装置を作っています。お客さまの要望や半導体開発の発展に合わせて、装置の研究から納入までを一貫して行っています。

一人ひとりのエンジニアから生まれたキャッツ製品が世界中の半導体業界で活躍しています。

代表から

専務取締役 高橋史さん
電気や電子の技術者だけでなく、プログラミングによる装置制御の技術者や設計ツールソフトによる構造設計の技術者、装置に関する書類を作成する文書管理者など、さまざまな部門の力を結集して世界に通ずるキャッツ製品を発信しています。

自分の手掛けた製品を私たちの鹿角から世界へ。キャッツは時代の先を共に走る仲間を歓迎しています。



- ◆所在地 十和田毛馬内字上陣場48-2
- ◆設立 昭和61年9月
- ◆代表者 高橋 奏
- ◆連絡先 ☎35-2102

ウチの会社のここがスゴイ!

技術I課パワーシステム技術
田村さんの会社自慢

検査装置を開発していく仕事なのでチャレンジの毎日です。



魅力あふれる地元企業を紹介
鹿角の企業いいね!
株式会社キャッツ電子設計



専務取締役 高橋 史さん